

地域懇談会のようす

地域懇談会に参加して思う

地域班を設置して2年を経過した今年8月下旬に、会員と事務局・役員とのコミュニケーションを目的として、初めての地域懇談会が5小学校区単位(精北、川西、山田荘、精華台、東光)で5日間連続して午後6時からセンターで開催されました。

懇談会開催の場所・時期・時間帯などが皆さんの参加条件に合わなかった事があったのか、残念ながら参加者は通しで50名(17%)と甚だ寂しい結果となりましたが、事務局からセンターの現状報告と、参加いただいた会員各位からの貴重なご意見(要望・助言・苦労話など)による情報交換にて意思の疎通と連帯感が生まれた事はセンターの今後の運営に大いに役立つものでした。改めてシルバー人材センターのあるべき姿を見出した様な気が致しました。

シルバー人材センターはハローワークではありません。皆さんもご承知の通りシルバー人材センターは「自主」「自立」「共働」「共助」の基本理念を基に運営されるもので、会員が一带となってシルバーの運営に参画することが基本です。

今回の懇談会開催で感じられた事はシルバーの運営・活動に「無関心」「センター任せ」の会員が多数いることが、非常に残念でした。

今シルバー人材センターの運営は「国からの補助金カット」を筆頭に年々環境が悪化しています。この苦境を乗り切るためには会員全員が経営者のつもりで一丸となってシルバーの発展に努力する時です。

会員が一带となるには情報交換を密にして連帯感を増す事にありますが、その役割を果たすのは地域班の活躍に期するところが大です。

これからの精華町シルバー人材センターの行く末を左右する地域班の機能強化に全力を投入し強固な組織体の確立を目指しましょう。

地域懇談会での会員の声

5日間の地域懇談会で、たくさんの意見が発言されました。主なものを抜粋します。

- 地域班の横の連絡が取れておらず、お互い知らないもの同士である。
- その地区で懇談会を開催すればどうか。
- ビアガーデンやカラオケ大会を開くような、娯楽を考えてもらいたい。
- 趣味を持った会員同士が集まってクラブを作ってはどうか。
- 学童保育支援事業に飛び入りで参加したが、年長者がやってきたことを伝えるのも我々の使命である。
- 集金業務や除草作業で就業の条件を改善して欲しい。
- 未就業者の把握をしているか。
- 地域で会員同士の知り合いが出来ると、突発的な都合で仕事ができなくても、知り合いに頼みカバーができる。

また、懇親会後の反省会において、以下のことを推進していくことになりました。

- ◇会員の未就業については、未就業会員に集まってもらい、意見を聞いて就業に繋げる。
- ◇業務内容を発注者と再度相談をし、就業の改善を行う。
- ◇シルバーせいかで、就業情報を掲載していく。

